

## 令和4年度 第11回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和5年2月17日（金）午後1時～午後3時30分

会 場 下野市役所3階 303会議室

出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一  
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫  
委 員 佐間田 香

出席職員 教育次長 近藤 善昭  
教育総務課長 上野 和芳  
学校教育課長 石島 直  
生涯学習文化課長 浅香 浩幸  
文化財課長 山口 耕一  
スポーツ振興課長 若林 毅  
教育総務課課長補佐 神田 晃  
学校教育課主幹兼指導主事 土田 礼巳  
教育総務課主事 慶留間 遥

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和5年3月20日

### 議 事

- 議案第32号 令和5年度下野市スクールアシスタントの任用について
- 議案第33号 令和5年度下野市社会教育指導員任用候補者の承認及び任用について
- 議案第34号 令和5年度下野市資料館員採用候補者の承認及び任用について

### 協議事項

- (1) 細谷小学校における小規模特認校の取組に対する検証結果について
- (2) 教育委員会後援等の承認について

## 報告事項

- (1) 教育委員会後援等の承認について
- (2) 全国学力・学習状況調査の分析結果について
- (3) 学校教育計画（案）の修正について
- (4) Shimotsuke English Forum の開催について

## その他

- (1) 令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の出席者について
- (2) 令和5年度教育委員会主要日程について
- (3) 県市町村教育委員会連合会への要望事項について
- (4) 下野市教職員退職辞令交付式・着任式の開催について
- (5) 令和5年度第1回教職員全体研修会（教育行政説明会）の開催について
- (6) 第2回天平の桜歌会について
- (7) 卒業式におけるマスク着用について

1. 開会
2. 教育長挨拶及び報告

(石崎教育長)

- 1月12日から本日2月17日までの職務について報告する。
- ・ 1月13日、高藤直寿選手市長特別賞授与式及び下野市スポーツ大会褒賞金交付式が行われた。高藤選手は栃木県庁での知事訪問終了後に来庁した。市からの褒賞金の他、後援会から牛肉5kgと米60kgが贈られた。
  - ・ 1月16日、第2回市地方創生推進本部会議が行われた。第二期総合戦略における具体的な施策の進捗状況並びに、目的達成に向けた来年度の取組等について協議を行った。
  - ・ 同日、市生涯学習推進本部会議が行われた。来年度の市生涯学習実施計画の策定について協議を行った。
  - ・ 同日、市DX推進に向けたヒアリングが行われた。市から委託された業者が、幹部職員一人一人にヒアリングを行った。
  - ・ 1月17日、部落解放愛する会新年挨拶が行われた。部落解放愛する会栃木県連合会副委員長をはじめ、4名の役員が来庁した。
  - ・ 同日、小山農業協同組合による学校給食へのいちご贈呈式が行われた。石橋地区並びに国分寺地区の小・中学校に対し贈られた。
  - ・ 同日、宇都宮農業協同組合による学校給食へのいちご贈呈式が行われた。南河内地区の小学校並びに義務教育学校に対し贈られた。
  - ・ 1月18日、市教職員全体研修会（研究発表会）を開催した。
  - ・ 1月19日、後期第5回下都賀地区教育長部会が開催された。主幹教諭並びに教務主任候補者案、その異動案について審議を行った。
  - ・ 1月20日、英語でコミュニケーションDAYが祇園小学校にて行われた。今年度2回目の開催であり、市内ALT7名が参加した。2年生を除く全学年で実施し、5、6年生に関しては2度目の実施であった。
  - ・ 1月21日、第15回下野市教育のつどいを開催した。
  - ・ 同日、小山歯科医師会新年会が小山グランドホテルにて開催された。小山市、下野市、野木町の3役のほか、保健健康関係部局の職員が招待された。
  - ・ 1月23日、市初級職員実務体験発表会が開催された。採用2年目の市職員が、自分の担当する業務について発表を行った。
  - ・ 1月24日、第15回全国B&Gサミットが東京ビッグサ

イト国際会議場で開催され、市長、随行職員と共に参加した。全国から500名を超える首長や教育長が参加した。なお、当日は後期第6回下都賀地区教育長部会が開催されており、小野学校教育課管理主事、石島学校教育課長が代理出席した。

- ・ 1月25日、第3回県人事問題協議会が、県総合文化センター特別会議室で開催された。市町間異動に係る新たな人事異動の仕組（案）について協議を行った。
- ・ 1月26日、市定期異動に係る校長面談を実施した。市内4小学校、3中学校を対象に、現在の異動事務進捗状況について伝達した。
- ・ 1月27日、市定期異動に係る校長面談を実施した。市内4小学校、1義務教育学校を対象に実施した。
- ・ 1月29日、栃木県郡市町対抗駅伝競走大会下野市選手団結団式が、スポーツ交流館2階大会議室にて開催された。選手10名、付添者5名、市長、スポーツ協会役員等が出席した。
- ・ 同日、第64回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会が開催された。全10区間のうち、2区と6区において沿道から応援した。
- ・ 1月30日、市社会教育指導員採用試験を行った。10名の採用予定枠に対し、新規採用希望者4名、再任希望者7名の応募があった。作文試験（新規のみ）、勤務評定（再任のみ）、面接試験（全員）の結果により、採用候補者を決定する。
- ・ 1月31日、第5回市行政改革推進委員会が開催された。10名の市行政改革推進委員会委員と協議を行った後、「市民評価報告書」が提出された。
- ・ 2月2日、市資料館嘱託員採用試験を行った。4名の採用予定枠に対して、新規採用希望者4名、再任希望者3名の応募があった。作文試験（新規のみ）、勤務評定（再任のみ）、面接試験（全員）の結果により、採用候補者を決定した。
- ・ 同日、教職員評価制度に係る管理職期末面談を実施した。今年度始めに立てた「学校経営」「学校教育管理」「人事管理」それぞれ2つ、計6つの目標について、その達成状況や自己評価について話し合いを行った。市内学校長5名、教頭1名と面談を行った。
- ・ 2月3日、教職員評価制度に係る管理職期末面談を実施した。市内学校長6名、教頭1名と面談を行った。
- ・ 同日、市政功労者表彰式が開催された。功労表彰33名、一般表彰1名並びに1団体、市民賞12名に対し、市長か

- ら表彰し、盾を贈った。
- ・ 2月5日、国分寺公民館自主サークル発表会が開催された。パフォーマンスの部（ステージ発表）に7団体、展示の部に6団体の参加があった。例年の公民館祭りに代わるイベントであり、市内の他の公民館においても2月の日曜日に実施される予定である。
  - ・ 2月6日、教職員評価制度に係る管理職期末面談を実施した。市内学校教頭9名と面談を行った。
  - ・ 2月7日、市教育委員会部内会議を開催した。今回の定例教育委員会における議案や報告等について、関係各課からの説明の後、協議を行った。
  - ・ 同日、教職員評価制度に係る管理職期末面談を実施した。市内学校長1名、教頭2名と面談を行った。
  - ・ 2月8日、令和5年度下野市当初予算案記者発表を実施した。各新聞社やテレビ局を招いて、市役所庁議室で行った。一般会計は今年度当初比1.1%、2億9千万円増の263億5千万円となった。
  - ・ 2月10日、第9回市定例校長会議を開催した。各校卒業式における「マスク着用」の扱いについての協議等を行った。
  - ・ 同日、市社会教育指導員採用試験を行った。1月30日の試験を欠席した、再任希望者1名に対する試験であった。
  - ・ 2月12日、南河内公民館自主サークル発表会が開催された。舞台発表に8団体、展示発表に6団体の参加があった。南河内公民館自主サークルのみではなく、生涯学習情報センター団体からの参加もあった。
  - ・ 2月13日、第9回庁議が行われた。2月21日開会予定の令和5年第1回市議会定例会の対応等について協議を行った。
  - ・ 2月14日、議員全員協議会が開催された。教育委員会関係の議題は「南河内第二中学校区給食室改修事業について」「南河内小中学校スクールバス調達について」の2つであった。
  - ・ 2月15日、後期第7回下都賀地区教育長部会が開催された。「中学校並びに義務教育学校（後期課程）教諭の異動案」「事務職員並びに学校栄養職員の異動案」の協議等を行った。
- 以上の報告内容について、質疑等はあるか。（特になし）

### 3. 議事録署名人の選任 石嶋委員及び佐間田委員を指名

#### 4. 前回議事録の承認

(石崎教育長)  
(神田教育総務課課長補佐)

前回議事録について、事務局に説明を求める。  
令和4年度第10回教育委員会定例会の議事録について、修正箇所の説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)  
議事録はこのとおり承認とする。

#### 5. 議事

(石崎教育長)

議案第32号から第34号については、個人情報に関する案件なので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員異議なし)

それでは、議案第32号から第34号については、非公開として進める。

まず、議案第32号 令和5年度下野市スクールアシスタントの任用について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

議案第32号を決定してよろしいか。(全委員承認)  
議案第32号は原案どおり決定する。  
続いて、議案第33号 令和5年度下野市社会教育指導員任用候補者の承認及び任用について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

議案第33号を決定してよろしいか。(全委員承認)  
議案第33号は原案どおり決定する。  
続いて、議案第34号 令和5年度下野市資料館員採用候補者の承認及び任用について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

議案第34号を決定してよろしいか。(全委員承認)  
議案第34号は原案どおり決定する。  
ここで非公開を解く。  
続いて、協議事項に移る。

#### 6. 協議事項

(石崎教育長)

(1) 細谷小学校における小規模特認校の取組に対する検証結果について、説明を求める。

- (上野教育総務課長) 今年度の下野市学校適正配置推進協議会の実施状況を報告の上、提言について資料に基づき説明する。
- (石崎教育長) 意見等はあるか。
- (熊田委員) 学童保育の再開は非常に重要なことであり、再開して良かったと感じた。現在、共働きの家庭が多いと思うので、学童保育が無い小学校には行きづらいと感じる保護者は多かったと思う。今後、細谷小学校区に居住しているが、別の学校に通っている児童や、細谷小学校区の新1年生が、細谷小学校を選択するきっかけになるのではないかと期待している。
- (上野教育総務課長) 今年度4月に学童保育が再開し、間もなく1年が経つ。今回の実績を踏まえ、こども福祉課とも連携しながら、このことについて様々な媒体で周知したいと考えている。
- (石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。
- (佐間田委員) 周辺の市町村も、小規模になった小学校をいくつか抱えているような状況なのか。
- (石崎教育長) 細谷小学校よりも小規模の小学校は近隣市町にもある。近隣においては、学校適正配置について進みつつある市町もあるが、進んでいない地域もあるのが現状である。
- (石嶋委員) 他に質疑、意見等はあるか。  
資料中の児童数の推移を見ると、小規模特認校制度を利用している方がだんだん増えているように見える。しかし、例えば平成31年度に制度を利用し入学したとされる2名が、令和2年度に2年生になった時には1名に減少しており、令和4年に4年生になった時にまた1名増加して2名になっている、というように、小規模特認校制度を利用している方の転校、転入の様子が見て取れる。「小規模特認校制度が期待外れだったので転校する」「仕事の関係で転校する」など、転校の理由を市教育委員会は把握しているのか。
- (石島学校教育課長) 「転居のため」ということは聞いている。
- (石嶋委員) この制度に期待をして入学したのにも関わらず、小規模特認校は自分とは合わなかったと思った方もいるのではないかと懸念している。せっかくこの学校を選んで来てくれた方が「期待と違う」と失望し、転校してしまい、結果的に人数が減ってしまうというようなことがあっては、非常に寂しいと感じたため、質問した。
- (石島学校教育課長) 転校の際には理由を書いてもらった上で転校手続きをしている。今まで、細谷小から違う学校へ転校する方の数が少なかったため、過去の経緯の詳細は把握できていない。最近であると、小規模特認校に所属しているが、家の都合で別の市町に転出するため転校するという事例があったことは把握している。
- (石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。

(佐間田委員) 「発達や精神的状況などを理由に、今所属している学校に通うことが難しくなったときに、細谷小学校は最後の砦であるので、なくなってしまうのは困る」という意見を保護者の方から頂いたことがある。また「細谷小学校で先生とトラブルがあると、もうどうしていいか分からなくなってしまう」という意見も頂いた。

保護者からすると、セーフティネットのような意味合いで、細谷小学校はできれば残してほしい学校なのかなと感じる。精神的状況などを理由として、小規模特認校制度を利用する方が増えていくと、先生の負担はかなり大きいものになってしまうと思うが、このような現状があるということも知ってほしい。

(石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。

(永山委員) 佐間田委員が述べたような理由で、細谷小学校は大きな役割を果たしているのだと思う。しかし、現在、「児童の受け皿」という位置付けになっているが、だからと言って細谷小学校に、特に不登校や発達に関する人材を多く配置しているわけではない。細谷小学校を大人数の中での学習が難しい児童の受け皿とするのであれば、本来は一から組み上げられた教育制度を作るべきなのである。現在、複式学級も解消できていない状況であり、本来ならば、市はどの学校においても均質な教育を提供しなければならない。結果的に受け皿になっていて、いつまでもこのような状況が続いていくというのはどうなのか、根本的に考える時期が来ているのではないかと感じている。

(佐間田委員) 永山委員と同意見である。現在、細谷小学校は児童の受け皿のような位置付けになっているため、この人数からすると、児童対応や保護者対応等、先生の負担はかなり大きいのではないかなと思う。

(永山委員) もう一点述べたい。国分寺西小学校でもそうだったのだが、地域の方の意見と、実際に子どもを通わせている保護者の方の意見は違う。小規模特認校制度で細谷小学校に子どもを通わせている保護者の方は別として、細谷小学校区に住む保護者の方たちが、実際に我が子を通わせる学校として、細谷小学校についてどう感じているのか、今回の提言書からは見て取れないため、そういったことも知りたいと感じた。

(上野教育総務課長) 今後の検討のためのデータ収集に当たっては、様々な意見を頂く機会が増えてくるかと思う。その際、永山委員の指摘のとおり、通わせる側である保護者の方の生の声や、地域の皆様の思いに対しても十分に耳を傾け、その意見を踏まえた上で、教育委員会としての今後の方針を検討していきたい。

(永山委員) 市で行う教育は、市内学校の子どもたちに対して同等のものでなくてはならず、「たまたまこの学校区に生まれたから、これ

ができない」ということがあってはならない。小規模特認校があることによって、市全体としてのメリットが生まれるかと思うが、そのメリットよりも、まず小規模特認校に通っている子どもたちが適正な学びを受けているのかについて考えなくてはならない。その上で、様々なメリットについて考えるということは良いと思うのだが。そこに実際に通っている子どもたちを忘れてはならないと考える。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。(特になし)

なお、細谷小学校における小規模特認校の取組に対する検証結果については、この後の総合教育会議においても教育委員の皆様にご意見を伺う。

続いて、(2)教育委員会後援等の承認について、説明を求めらる。

(上野教育総務課長)

2月現在、1件の後援の申請があった旨説明を行う。当該事業は初回申請事業であるため、後援の可否に関して協議をお願いしたい。

(石崎教育長)

質疑、意見等はあるか。

(熊田委員)

内容は非常に良いと思ったのだが、チラシの裏面に、かなり高額な月謝と入会費の塾事業について記載されている。チラシ裏面に塾事業についての記載があると、このイベントを市教育委員会の後援した場合、その塾への入会まで後援し、推奨しているようなイメージを与えてしまうのではないかと考える。塾事業に関しての後援として受け取られるような記載は控えてもらったほうが良いのではないか。

(石崎教育長)

何か対応案はあるか。

(上野教育総務課長)

例えば「教育委員会としてはイベントのみを後援するため、チラシの作成については、イベント関係の内容のみ記載し、作成してください」というような表現でただし書を行い、塾事業についての記載は控えるよう依頼したいと思う。

(石崎教育長)

それでは、今回の後援はあくまでもイベントに対する後援であり、チラシを見た方が、市教育委員会が裏面の塾事業に対しても後援をしていると受け取らないような形で作成を依頼することによってよろしいか。

(佐間田委員)

イベントの中で、塾事業への勧誘やチラシの配布などが行われる可能性は十分にあると思うが、そういったことも行わないよう依頼するのか。

(上野教育総務課長)

イベント会場には、様々なチラシや情報誌が置かれているかと思うが、そういったところに一緒に置いて、それを見た人が自由に取るということは問題ないかと思う。しかし、最初から配布物に塾事業のチラシを同封するなど、積極的に配ることは控えていただくよう依頼する。

(熊田委員) チラシの内容や配布等、条件を守れるのであれば後援は行えるが、それが難しい場合、後援は行うことはできないと伝え、選択してもらうのはいかがか。

(上野教育総務課長) 相手方に選んでいただくのも良いかと思う。

(石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。(特になし)

それでは、委員の皆様の意見をまとめ、条件を受け入れることができる場合は承認ということによろしいか。(全委員承認)  
続いて、報告事項に移る。

## 7. 報告事項

(石崎教育長) (1) 教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

(上野教育総務課長) 令和5年2月現在、2件の後援申請があった旨説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(2) 全国学力・学習状況調査の分析結果について、説明を求める。

(石島学校教育課長) 全国学力学習状況調査の分析結果について、担当から説明する。

(土田指導主事) 令和4年度全国学力学習状況調査の分析結果について、資料に基づき説明する。

(石崎教育長) 質疑、意見等はあるか。

(石嶋委員) 無回答率の集計は大変だったかと思う。無回答率の結果のおかげで「記述式問題は大変だから……」と考え、書くのを諦めている児童生徒が本市の場合は少ないということがわかった。

また、質問紙の中に「国語(算数・数学、理科)の授業の内容はよくわかりますか」という項目があるが、児童生徒が「よくわかる」と回答していても、本当に教科の内容を全て理解しているかは分からない。先生方には前提としてそういった意識を持ってほしい。

(石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。

(佐間田委員) ICTの活用についてである。12月にも、私の子どもの学校はタブレットの持ち帰りを行っていないという話をしたが、今現在も持ち帰りが一度もない状況である。市内各校の持ち帰りの状況が横並びでないのは少し不安である。

(石島学校教育課長) 1月の情報教育研修の際に各学校の実情を確認し、タブレットの持ち帰りを行っていない学校があるということを把握した。持ち帰りを行っていない学校に対しては、先進的にタブレットの持ち帰りを行っている学校の取組状況や活用状況を十分に示し、当該校の担当教諭も、今後活用していくためにどうすれば良いのか情報交換をしていた。再度当該校の状況を確認する。

(石崎教育長) 他に質疑、意見等はあるか。

(熊田委員) 各教科の正答率が低い問題についてである。中学校の学習の中でここまで細かい内容を設問として出すのか、重箱の隅をつつく

ような設問ではないかと感じる問題もあった。本当の学力を見るために問題を作っているのか疑問に思う部分もある。

続いて、ICTの活用についてである。中学校でばらつきがあるのはもちろん良くないとは思うのだが、本市全体として、ICTの活用の割合が低めであることについては、これから進めていけば良いことであるため、あまり気にしなくても良いのではないかと感じた。子どもたちは学校で活用の仕方について教わらなくても、自らICTを活用していくのではないかと思う。むしろ今回の結果を見ると、漢字の書き取り能力について向上を図る必要があるのではないかと思う。例えば、漢字検定などを取り入れたりするのも良いのではないかと感じた。

(石崎教育長)  
(永山委員)

他に質疑、意見等はあるか。

検証作業もしっかり行ってほしいが、全国学力学習状況調査の結果だけを注視するのではなく、児童生徒に毎日接し、反応や表情を見ながら一人一人と向き合ってもらいたい。

ただ、ここまで詳細な資料は貴重であるので、ここまでまとめてもらい、本当にありがたく感じている。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。(特になし)

私からも一点述べたい。「新聞を読んでいますか」の設問について、小学校も中学校も全国平均を大きく上回っている。新聞の日の効果が表れているのではと感じている。

その一方、学力調査の結果が良いのにも関わらず、教科について好きと答える児童生徒はそこまで多くない。教科の内容が理解できるならば、当然好きにつながると思うが、結果としてそうではなく、子どもたちの勉強疲れが懸念される。この部分は反省点だと感じている。

続いて、(3)学校教育計画(案)の修正について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

学校教育計画(案)について、前回からの修正部分を中心に、資料に基づき説明する。

(石崎教育長)  
(石嶋委員)

質疑等はあるか。

3「『健やかな体』を育む体育・健康・安全教育の推進」の(2)「健康・安全教育の推進」における努力目標が2つあるが、この2つはどう違うのか。

(石島学校教育課長)

1つ目は「健康な生活」に関わる努力目標、2つ目は「安全な生活」に関わる努力目標である。表現は非常に似ているが、健康に関することと安全に関することで項目を分けている。

(石嶋委員)

健康分野と安全分野に分けたということで了解した。

また、5「一人一人を大切にすると人権教育の推進」(2)「全教育活動を通じた人権教育の推進」①「自己有用感を高める指導の充実を図り、豊かな人間性を育む」の部分だが、「高齢者や障

がい者等との交流など、多様な体験活動を取り入れるなど……」の部分に、「等・など」が多く使われすぎているため、表現を変えたほうが良いかと思う。

(石島学校教育課長)

表現の修正を行う。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。

(石嶋委員)

最後に、1「『学ぶ力』を育む学習指導の推進」(1)「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」①「指導計画や指導方法の工夫改善を図る」のイの部分についてである。「単元(題材)全体や毎時間の中で身に付けさせたい力を明確にし、児童生徒の体験と関連付けたり、これまでの学習内容を想起させたりするなど」までは良いのだが、最後が「ねらいの示し方を工夫する」という形になっている。これでは、指導計画や指導方法の工夫、改善について前部分で述べているにも関わらず、「ねらいの示し方の工夫」とだけまとめており、改善部分がかなり狭くなってしまっているのではないか。

(石島学校教育課長)

まず「身に付けさせたい力」がどのような力かということを明確にし、それから、児童生徒がこれまでの自分たちの体験に関連付けることができたり、学習内容を想起させたりできるようなねらいを示すことを重要視している。ねらいをどのように示していくか、表現だけではなく、授業における導入部分に関する視点も含めた工夫として考えた部分である。

(石嶋委員)

前部分は「多様な活動」や「子どもたちのより深い思考」など、かなり本質的な部分を突いているのに、まとめの部分が「ねらいの示し方の工夫」になってしまうと、急に本質的な部分から外れてしまっている感じがしたため、違和感があった。検討してもらえればと思う。

(石崎教育長)

他に質疑、意見等はあるか。

(永山委員)

感想になるが、述べたい。下野市学校教育目標に「郷土の伝統と文化や自然に誇りを持ち」という表現があるが、郷土の伝統と文化、自然について知った上で、子どもたちが実際に誇りを持てるかどうかについては一人一人の捉え方次第であるため、最初から誇りを持つことを目標にすることに違和感を覚える。本来ならば、他の目標の「勤労・奉仕の精神を理解し」と同様に、「郷土の伝統と文化や自然をよく学び、自信を持って(国際)社会で活躍できる子どもを育てる」とするのが良いのではないかと思う。

「郷土愛」「愛国心」という言葉は、ある程度指定された文言なのかもしれないが、誇りを持つか持たないかは児童生徒一人一人が故郷を学び、評価した結果であるため、強いるのはいかがなものかと感じている。

(石島学校教育課長)

表現等を確認し、検討する。

(石崎教育長)

今後、もしお気づきの部分があれば、来週中に学校教育課へ連

絡してほしい。

(石嶋委員) 最後の一つ述べたい。今回改めて学校教育計画(案)に目を通し、本当に概念的で大きなものから、より具体的なものまで様々なレベルのものが書かれていることが分かった。始めは記載内容の振れ幅がかなり大きいと感じていたのだが、本質的な内容に関する記載もあり、具体的なアイデアやヒント、配慮事項などについての記載もあるため、現場の先生にとってはこのような書き方のほうが分かりやすく、良いのかなと思い直した。かなり様々な角度から作っていただき、ありがたく感じている。

(石島学校教育課長) 作成する側としても、委員の意見をありがたく頂戴している。

(石嶋教育長) それでは続いて、(4) Shimotsuke English Forum の開催について、説明を求める。

(石島学校教育課長) Shimotsuke English Forum の事業計画について、資料に基づき説明する。

(石嶋教育長) 1月の「下野市教育のつどい」の際に永山委員から「子ども未来プロジェクト発表については、より多くの観衆に見ていただきたい」という講評をいただいたため、子ども未来プロジェクト発表を Shimotsuke English Forum と併せて実施することを計画している。それでは、質疑、意見等はあるか。

(石嶋委員) この事業については、子どもたちを連れてきた保護者の方も発表を聞くことができるのか。

(石島学校教育課長) 当日については、ぜひ保護者の方にも発表を見ていただきたいと考えている。

(熊田委員) 会場が石橋公民館のホールになるということで、市内の多くの人が押し寄せると密になるのではないかと心配である。まだ先の話であるため、まだ具体的な検討はしていないと思うのだが。市内の方に広く周知するとのことであるため、オンラインは問題ないとしても、実際に現地に来て観覧する方の人数を制限するようなことも考えているのか。

(石島学校教育課長) 新型コロナウイルス感染症に関しては、国の対応が今後かなり緩和されていくだろうと予想し、定員300名程度の会場において、最低でも150名、できれば200名程度の観衆が入る規模感で考えているところである。

(石嶋教育長) 石橋公民館のホールの広さはどの程度か。

(浅香生涯学習文化課長) 300名は入る広さになる。

(石嶋教育長) 国分寺公民館と比べるとどうか。

(浅香生涯学習文化課長) 石橋公民館のほうが国分寺公民館よりも広がっている。

(石嶋教育長) それでは、他に質疑等はあるか。(特になし)

Shimotsuke English Forum の実施については、承認ということでよろしいか。(全委員承認)

(石島学校教育課長) 本日配布した資料には、子ども未来プロジェクト発表の時間に

についての記載をしていない。今後、開始時間や内容等について更に検討し、来年度改めて提案ができるよう、準備を進めていく。  
（石崎教育長） それでは続いて、その他の連絡事項に移る。

## 8. その他

（石崎教育長） （1）令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の出席者について、説明を求める。

（上野教育総務課長） 令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の出席者及び集合時刻等について、資料に基づき説明する。

（石崎教育長） 質疑等はあるか。

（永山委員） 中学校の卒業式、入学式の教育委員の出席についてである。卒業式に関しては2校で教育委員の出席がなく、入学式に関してはすべての中学校で教育委員の出席がない予定である。これは、新型コロナウイルス対策の一環として、来賓を制限するためこのような形になっているのか。それとも恒常的にこういった形にしていく予定なのか。

（上野教育総務課長） 今年度の予定を立てる際、まだ感染拡大が心配される状況であったため、人数を絞ったという事情がある。今後、感染状況が落ち着いた際には、教育委員の皆様が学校と関わりを持つ場を増やすため、改めて学校側と参加者について協議したい。

（永山委員） 学校と教育委員会の関係は密接であって然るべきであり、また、卒業式や入学式は重要な式典であるため、本来は教育委員の出席がなければならないと考えている。今回は、感染症対策ということで臨時の対応を取っており、やむを得ないとは思いますが、やはり教育委員の出席は必ずなくてはならないと考える。

（石崎教育長） 今後の儀式行事については、新しい方針で検討するよう、事務局に求める。

他に質疑等はあるか。（特になし）

卒業式について補足する。南河内小中学校前期課程については、卒業式は執り行わないが、卒業式に代わる儀式行事として修了証書授与式を開催する。

続いて、（2）令和5年度教育委員会主要日程について、説明を求める。

（上野教育総務課長） 教育委員会主要日程について、資料に基づき説明する。なお、本日配布したものは暫定版であり、他の行事については決定次第報告する。

（石崎教育長） 質疑等はあるか。

（熊田委員） 今まで教育委員に出席の依頼や連絡がなかった行事についても、今回出席するよう記載がある。逆に、例年教育委員が挨拶を行っていたような行事についても表中から抜けているように見える。この一覧表を見て、教育委員も年間のスケジュールを立て

るため、正しいものを提示してほしい。

(石崎教育長)

内容を確認し、正しく修正したものを提示するよう、事務局に求める。

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(3) 県市町村教育委員会連合会への要望事項について、説明する。

前回の教育委員会定例会において、県市町村教育委員会連合会への要望事項の提示を依頼したが、要望事項は各市3件までとのことである。

下野市教育委員会からは、教育委員の皆様から挙げられた「産育休取得者の代替教職員について」「特別支援学級における編制基準の引き下げ」「教員業務支援員の配置及び支援について」の3点を要望するという事によろしいか。(全委員承認)

それでは、以上3点について要望するよう、事務局に求める。

続いて、(4) 下野市教職員退職辞令交付式・着任式の開催について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

下野市教職員退職辞令交付式・着任式の日程、会場等について、資料に基づき説明する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(5) 令和5年度第1回教職員全体研修会(教育行政説明会)の開催について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

令和5年度第1回下野市教職員全体研修会(教育行政説明会)を4月6日、しもつけ風土記の丘資料館講堂にて開催する。内容としては、教育研究所研究員の委嘱状の交付、「下野市学校教育の重点」の説明、教育委員会事務局各課からの予算概要の説明が中心となる。昨年度からの変更点として、学校から校長、事務職員に加え、教頭にも参加してもらうこととした。参加人数が増えることとなるので、会場内の配置等について、十分に検討する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(熊田委員)

会場はしもつけ風土記の丘資料館とのことだが、駐車場は北側駐車場を利用すればよろしいか。

(石島学校教育課長)

しもつけ風土記の丘資料館の北側駐車場を利用してほしい。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(6) 第2回天平の桜歌会について、また、先ほど追加資料の配布があった、ゆうがお混声合唱の集い2023について、併せて説明を求める。

(浅香生涯学習文化課長)

第2回天平の桜歌会を、淡墨桜の開花時期に合わせた3月19日に開催する。今年は天平の花祭りも3月18日から開催する予定ということで、花祭りの期間の最初の日曜日を飾る文化イベントとなる。お時間が合えば委員の皆様にもぜひ参加してほしい。

続いて追加配布した、ゆうがお混声合唱の集い2023についてである。3月11日にグリムの館にて、下野混声合唱団主催で、市内の他合唱サークルが協力し、真岡の合唱団や石橋高校の合唱部などを招いての合唱の集いを行うというものになっている。なお、当事業は市の市民活動補助事業として行うものである。こちらもお時間が合えば参加してほしい。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(7)卒業式におけるマスク着用について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

卒業式に関する文部科学省及び県教育委員会の方針を受け、市教育委員会も方針を固めているところである。まず、児童生徒及び教職員はマスクを外すということが基本ということであるが、卒業式の会場の実情、児童生徒及び教職員の動向等を踏まえ、最終的には各学校で判断するという事で各校に依頼したところである。なお、卒業式における来賓や保護者については、マスクの着用をお願いすることになるため、教育委員の皆様も、卒業式当日はマスクの着用をお願いする。

中学校の卒業式については、3月13日以前の対応ということになるため、学校からは、卒業式の告辞等を読み上げる時はマスクを外しての読み上げをお願いするという事で連絡が入っている。小学校については、再度学校に確認を取った上で、担当する教育委員の皆様に報告したいと考えている。

この後、国から改めて通知が発出されることとなるため、これを受け、4月1日以降の学校での対応を検討していく。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

それでは、事務局から他に連絡事項等はあるか。

(近藤教育次長)

石橋高校が春のセンバツ高校野球に21世紀枠として出場するという事で、市においても石橋高校への応援を考えている。現在、スポーツ振興課が窓口になり、激励品としての米と肉の贈呈や、石橋高校体育館においてパブリックビューイングの実施を予定している。また、クラウドファンディングにより、市内外の方から寄付を募ることを考えている。これらに伴い、一部要綱の改正を行うこととなる。要綱の改正については、次回教育委員会臨時会にて報告する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

他に事務局から連絡事項等はあるか。(特になし)

(石崎教育長)

教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、以上でよろしいか。(全委員承認)

次回の教育委員会は、3月20日(月)午後1時30分からの  
予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時30分閉会。

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人